

令和6年度 学校経営計画書

学校番号	41	学校名	静岡県立静岡商業高等学校	校長名	松浦真一郎
------	----	-----	--------------	-----	-------

1 スクール・ミッション

校訓「剛健進取」のもと、120年を超える歴史と伝統を誇る静岡県を代表とする商業高校として、産・学・官との連携による「課題研究」等の実学教育と課題解決型学習等の活動を通じて、地域を担うビジネスリーダーや知徳体のバランスのとれた社会性に優れた有為な人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

- I ビジネスに関するマナーや技能・実践力を身に付け、社会人基礎力を育成する学校。
- II 学ぶこと働くことを尊び、高い志を持って生涯学び続ける姿勢を育成する自主性に満ちた学校。
- III キャリア教育を通して進路目標に向けて個々の実力を高め、多様な進路希望を実現する学校。
- IV 行事や部活動等を通して、豊かな人間性や健やかな心身を育成し、活力にあふれる学校。
- V 地域社会との連携を深め、地域に学び、地域貢献に寄与して地域社会から信頼される学校。

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
何が身に付き、どのような力を育成するか ○地域を担うビジネスリーダーとしての技能や実践力 ○優れた経営感覚を持った豊かな人間性と健やかな心身 ○学びや働くことを尊び、高い志を持った生涯学び続ける強い意志や姿勢	何を学びどのように育成するか ○時代や環境の変化に対応した商業の高い専門的な知識技能 ○地域人材や他機関との連携を活用した実学教育を中心とした主体的な能力 ○課題を発見し、その解決に自ら取り組む主体的・対話的で創造的な人間性	どのような生徒を受け入れるか ○基礎学力を有し、高い志及び目的意識をもって教育活動に取り組む意欲のある生徒 ○健康で逞しく、自ら進んで取り入れるチャレンジ精神にあふれる生徒 ○地域を愛し、地域に貢献しようという強い意志を持つ生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 人間力を兼ね備えた適正なビジネスマナー、倫理観、規範意識等社会性に優れた生徒の育成
- イ 社会の変化や生徒の実態を踏まえたカリキュラム・マネジメントの推進、個別最適な学び・協働的な学び・探究的な学びの深化を実現する教育の充実
- ウ 生徒の基礎学力の定着、高度な専門性の伸長、生徒の進路意識の高揚と進路実現
- エ 行事や部活動、生徒会等の教育活動の充実、「健やかな心身」と「豊かな感性」の育成
- オ 産・学・官連携の推進及び地域に根ざした教育活動、学校・家庭・地域連携による開かれた魅力ある学校づくり（コミュニティスクール）の推進
- カ 学校組織マネジメントの構築、教職員が担う業務内容・分担の適正化・合理化の推進、校務のDX化等働き方改革による業務改善の実現達成
- キ 生徒の心身の健康・安心安全及び人権、特別な支援・合理的配慮を要する生徒への組織的な対応、学びを広げるICT活用に関する教育の発展・充実
- ク 効果的な予算執行と文書管理の徹底、教育環境（ネットワーク環境含む）の整備・拡充

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	基本的な生活習慣の確立 ビジネスマナー及び社会人基礎力の育成	①校則見直しと自己管理力の育成 基礎学力・基礎学習の向上 ②情報モラル教育の指導徹底 ③交通安全指導の工夫	①遅刻を昨年度より減らす 朝指導・朝学習の実施 ②ネット依存対策講座の実施 ③交通安全教室の実施	生徒課 進路課 各学年

様式第1号

イ	開かれた教育課程の実践 ICT教育活用による新たな学びの展開 個別最適な学び・協働的学びによる指導と評価の一体化への取組実現 探究的な学びによる授業改善の推進	①学習指導要領に対応した教育課程の実践、改善 ②授業以外での学習習慣の確立 ③主体的対話的で深い学びを実現するアクティブラーニングを活用した探究型授業実践の推進 ④観点別学習評価の定着、授業改善への取組推進	①教育課程検討委員会の開催 シラバスのデジタル化 ②家庭学習課題の工夫 ③ICT教育の充実・発展 BYODの有効活用公開授業週間の実施 ④各教科の観点別評価検証、活用教科内・教科横断的な対応	教務課 進路課 図書研修情報課 各教科 各学年
ウ	キャリア教育の視点による多様な進路希望の実現	①進路情報収集と生徒一人一人に適した情報提供による個別指導 ②生徒が自ら進路情報を収集し、自ら進路決定できる指導の工夫	①進路決定率(就職・進学)100% 3年間を見据えた進路マップ ②手帳及び一人一台端末の活用 基礎力診断テスト等の分析	進路課 各学年
エ	行事や部活動の活性化活躍するリーダーの育成	①生徒会、各委員会活動の活性化 ②各部活動の具体的な高い目標値設定、その実現を目指して活動	①生徒(生徒会や委員会等)主体の学校行事の企画・立案・運営 ②県大会出場以上の目標実現 競技会等への積極的参加	生徒課 部活動 各学年
オ	地域連携事業の推進 魅力ある学校づくり推進 広報活動の発展、充実 PTA活動の合理化	①地元企業と連携した商業教育「課題研究」等探究学習の充実 ②学校運営協議会制度による活動コミュニティスクール ③中学生一日体験入学や公開授業の工夫・改善 ④PTA行事の工夫・改善と精選 ⑤ホームページ、SNSの充実	①商品開発や販売実習の積極的実施、実学教育の推進 ②学校・家庭・地域等連携による「行きたい学校づくり」の推進 ③体験入学・オープンスクールの内容改善、個別相談の実施 ④実効性のあるPTA行事実施 ⑤HP更新 1週間に1回以上	管理職 商業科 教務課 総務課
カ	校務のDX化等による学校組織の見直し・改善 教職員の健康管理の増進 法令順守及び不祥事根絶	①校務分掌の業務内容の見直し ②部活動ガイドラインの遵守 ③部活動・委員会等の精選 ④教職員のワークライフバランスの確保と働き方改革の推進(多忙化解消・時間外業務の縮減) ⑤コンプライアンス意識の徹底	①各分掌業務の精選 ②適切な年間指導計画の作成 ③部活動検討委員会の開催 ④ストレスチェック等で課題を抱える教職員ゼロ ⑤定期的なコンプライアンス研修の実施 不祥事ゼロ	管理職 各分掌 部活動 全教職員
キ	生徒の自己健康管理 特別な配慮を要する生徒への対応・教育相談機能の充実 防災教育・防災訓練の充実 ギガスクール構想対応	①保健委員会の活性化 健康管理意識を高める指導 ②精神的身体的等特別な支援を要する生徒の情報共有、支援体制の構築 ③いじめや生徒の悩みを早期発見・早期対応ができる体制作り ④危機管理意識の育成 防災や緊急時マニュアルの周知 ⑤BYOD等による情報活用実現	①保健だよりの発行 薬学講座・健康講座年各1回 ②支援(ケース)会議の実施、SCやSW等専門家との連携による支援指導 ③いじめアンケート 年2回 学校生活アンケート 年3回 ④防災訓練 年3回 交通安全教室 年2回 ⑤一人一台端末の有効活用	保健課 生徒課 総務課 教務課 図書研修情報課 事務室
ク	予算の適正な執行 教育環境の整備・充実 正確・迅速な事務・会計処理の実施	①計画的かつ効率的効果的な予算編成・執行 ②安心安全を考慮した学校施設・設備の修繕及び保全 ③文書管理の徹底(起案、決裁等) ④学校徴収金等の明瞭性徹底 公金に対する明確な説明責任	①効果的な予算執行、教育活動への経費確保(執行残0.5%以下) ②施設設備安全点検 学期1回 ③起案、決裁等による保管徹底 ④校内外への会計報告書 適宜 検定代金や部活動徴収金報告	事務室 全教職員